

会議報告	〔会議名〕	作成日:平成 27 年 5 月 20 日
	第 26 回河内長野市地域公共交通会議	
日 時	平成 27 年 3 月 30 日 15:00～17:00	
場 所	市役所 701 会議室	
参加者	【公共交通会議委員】 別紙のとおり 【事務局】 榊井部長、中橋課長、山田課長補佐、水上係長、鈴木主査、田中 【会議傍聴者】4 人	
議 題	(1)「河内長野市地域公共交通網形成計画」の承認について (2)モックルコミュニティバスのアンケート結果等について (3)楠ヶ丘地域乗合タクシー(くすまる)のアンケート結果等について (4)公共交通に関するアンケート(桐ヶ丘地域)の結果等について (5)「平成 27 年度河内長野市地域公共交通会議予算」(案)について (6)その他	
議 事 内 容		
<p>・冒頭、向井会長から第 26 回河内長野市地域公共交通会議の開催にあたって挨拶。</p> <p>(1)「河内長野市地域公共交通網形成計画」の承認について</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆事務局より形成計画の内容及び経過説明を行い、原案どおり承認された。 ◆各委員からの意見(要約) <p>【日野副会長(大阪市立大学)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓評価指標について、会議の中で市独自のものを設定しておいた方が良い。 ✓なかなか国の交通政策が政策と呼べるものがない。利用者増が最大の目的であるかのごとく、公共交通の計画が立てられている。利用者増は結果論である。まちづくりの中でこんなものが必要であるといった部分をしっかり考える必要がある。 <p>【松倉委員(大阪府富田林土木)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓非常に先進的な取り組みをされている。 ✓今後、需要に応じて色々な交通(介護・買い物など)の話が出てくるのが予想されるので、地域の住民がどういうものを求めているのかを、PDCA においてしっかり検証して仕組みを作っていくことを期待している。 <p>【阪本委員(南海バス労働組合)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓フリー乗降について、始める前に最低限のルールを決めておくべき。 <p>【井戸委員(丸長運送)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓先進的な取り組みをしているのであれば、PR・情報公開の仕方を工夫すべき。 ✓評価の期間が明確ではない。 <p>(2)モックルコミュニティバスのアンケート結果等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆事務局より資料に基づきアンケート結果等の説明 ◆各委員からの意見(要約) <p>【日野副会長(大阪市立大学)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓聞き方をもう少し変えた方がいいのではないかと。(過去に行った目的地を聞いて、市役所と答えた方が多いことに関して) ✓資料について、グラフが数字とグラフの大きさが合っていないので誤解を招きやすい。 <p>【堀委員(市民代表)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓毎日乗降されている方がターゲットとなっているが、普段使わない人を対象に調査するのも有効であると思う。 <p>【伊勢委員(和歌山工業高等専門学校)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓同伴者割引制度について、今後の需要を探ることも重要であるが、もともと導入した目的があったはずなので、その部分の効果が検証出来ない状況となっているので、そこを検討すべきである。 <p>(3)楠ヶ丘地域乗合タクシー(くすまる)のアンケート結果等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆事務局より資料に基づきアンケート結果等の説明 ◆各委員からの意見(要約) <p>【澤 委員代理(第一交通)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓楠ヶ丘の方は協力的に頑張ってください。今後、烏帽子台の方も延ばせていけたらなと思っている。 		

【日野副会長(大阪市立大学)】

- ✓烏帽子台はアンケートもとても回収率が高い。頑張りによっては、増える可能性があるのでは。

【伊勢委員(和歌山工業高等専門学校)】

- ✓住所別の利用状況(資料 3-1・2P 下段)が、住所別ではなく全体での割合で出しているの、例えばあおぞら自治会だけで見て、前年比で増減したかがわかりにくいので、改善してほしい。

(4)公共交通に関するアンケート(桐ヶ丘地域)の結果等について

◆事務局よりアンケート結果及び現状の地域の実情について説明

- ✓桐ヶ丘に住む住人の最寄駅は滝谷駅である。
- ✓桐ヶ丘の人口は約 800 人弱。世帯数は約 300。
- ✓桐ヶ丘だけで 3 つの自治会がある。また、勉強会を希望した桐ヶ丘中央自治会と勉強会を実施中。

◆各委員からの意見(要約)

【日野副会長(大阪市立大学)】

- ✓デマンド交通で成功している例が少ない。ある程度需要がないとお抱えハイヤーとなって終わってしまう。一日一人いるかいないかのような利用では、デマンドしても何のメリットもない。

【長谷委員(大阪運輸支局)】

- ✓国交省としてもデマンドを推奨して行こうという動きが、今ものすごくある。
- ✓1 つの自治体だけで交通網を形成するのではなく、近隣の自治体と連携を取り、大きな交通網を形成していくことが重要である。
- ✓南海バスは河内長野市内だけを走っているわけではないので、その路線沿線の自治体が集まって検討していく方法もある。また、タクシー交通圏もあるので、いろいろな交通圏の関連自治体と話して行くこともひとつの方法である。

(5)「平成 27 年度河内長野市地域公共交通会議予算」(案)について

◆事務局より資料に基づき予算案の説明

◆各委員からの意見(要約)

【日野副会長(大阪市立大学)】

- ✓予算の立て方について、義務的経費を残さないと予算規模が維持できない仕組みになっている。
- ✓本来は、戦略的経費に投入して行きたい。頑張ったら新しいことに投入できるよう仕組みにすべき。(この件については、次年度に向けて検討して行くこととなる。)

(6)その他

◆日野教授ゼミ生 長永氏による論文発表

- ✓「高齢者の外出ニーズと移動支援を目指した新たなバスの評価」

以上

河内長野市地域公共交通会議委員名簿

平成27年3月30日（月） 午後3時から 河内長野市役所 701会議室

	氏名	所属・役職	代理出席
会長	向井 一雄	河内長野市 副市長	
副会長	日野 泰雄	大阪市立大学大学院工学研究科 教授	
委員	伊勢 昇	和歌山工業高等専門学校環境都市工学科 准教授	
委員	長谷 潤	国土交通省近畿運輸局大阪運輸支局総務企画部門首席運輸企画専門官	
委員	湯川 義彦	国土交通省近畿運輸局大阪運輸支局輸送部門首席運輸企画専門官	欠席
委員	浅井 敏彦	大阪府 都市整備部 交通道路室 都市交通課 公共交通計画グループ 課長補佐	欠席
委員	松倉 昌明	大阪府富田林土木事務所 地域防災監兼地域支援・企画課長	
委員	川幡 一哉	大阪府河内長野警察署交通課長	欠席
委員	植田 光昭	南海バス株式会社企画部企画課長	
委員	奥村 夏男	南海バス株式会社営業部営業課長	
委員	坂本 頼幸	南海バス株式会社 労働組合代表	
委員	池谷 育晃	大阪第一交通(株) 河内長野営業所長	澤
委員	椋本 専次	近鉄タクシー(株) 南大阪総合営業所長	
委員	曾和 孝司	河内長野市老人クラブ連合会会長	
委員	阪上 明	河内長野市観光協会相談役	欠席
監事	井戸 清明	河内長野市商工会理事	
監事	濱本 友美	市民代表	
委員	堀 泰明	市民代表	
委員	徳田 博久	河内長野市健康長寿部長	
委員	扇田 宗彦	河内長野市産業経済部長	
委員	榊井 繁春	河内長野市都市づくり部長	
委員	塩谷 聡	河内長野市総務部長	
委員	辻野 修司	河内長野市総合政策部長	